製造販売届出番号: 26B1X10019102111

機械器具(58)整形用機械器具

一般医療機器 歯科インプラント技工用器材 JMDN コード:70757000

# EMINEO 用印象採得器具

#### 【形状・構造等及び原理等】

- (1) 本製品は、EMINEOシリーズの専用器具である。
- (2) 口腔内を間接印象採得する際に使用するパーツである。
- (3) T-COP EM-ST には、T-COP ボディ EM(Hex 又は Non-Hex)、 T-COP ガイドピン EM が同梱されている。 I ポスト EM-ST には、I ポストボディ EM (Hex 又は Non-Hex)、I ポストガ イドピン EM が同梱されている。
- (4) サイズ等については外装の表示ラベルに記載されている。
- (5) 形状、材質は以下の通り。

製品名		外観	材質
T-COP EM-ST	T-COP ボディ EM		チタン合金
	T-COP ガイドピン EM		ステンレス鋼
I ポスト EM-ST	Iポスト ボディ EM	A series	チタン合金
	I ポスト ガイドピン EM		ステンレス鋼

#### (原理等)

上部構造の作製のために行う口腔内での印象採得時に使用される。

### 【使用目的又は効果】

本製品は、歯科用インプラントの上部構造を作製するために 用いる歯科技工用の器具・材料である。

### 【使用方法等】

本製品は未滅菌であり、洗浄及び滅菌してから使用する。

本製品の滅菌は、高圧蒸気法(オートクレーブ)が可能である。オートクレーブ滅菌を行う場合は、以下の条件で滅菌することができる。各施設において器具類の滅菌に関する適切に有効性がバリデートされた滅菌プロセスであれば、本条件と異なった滅菌を行うことも可能である。

### <滅菌条件例>

(第 16 改正日本薬局方 参考情報 微生物殺滅法 2.滅菌法 2.1.加熱法の高圧蒸気法による)

121~124℃:15分間 又は 126~129℃:10分間

# 〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- (1) 詳しい使用方法については、取扱説明書を参照すること。
- (2) 本器具の使用前・使用後には、適切なメインテナンスを行うこと。(「保守・点検に係る事項」の項参照)[メインテナンスが適切でないと、器具の性能が早期に低下したり、変色等が発生したりすることがある。]

#### 【使用上の注意】

### 1. 不具合·有害事象

### 重大な不具合

器具の強度を上まわる過大な側方圧やねじり応力が加わった場合、器具が変形したり破折したりする恐れがある。

### 【保管方法及び有効期間等】

# ・保管の条件

高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

# 【保守・点検に係る事項】

本器具は下記要領にて取り扱うことを推奨する。

(1) 術中の器具の取り扱い

使用した本器具は、滅菌精製水や注射用水の入ったシャー レ等の中にいれ、乾燥させないようにすること。

#### (2) 使用後の取り扱い手順と注意事項

手順	注意事項
1) 準備	<ul><li>作業に応じて手袋等を交換</li></ul>
作業者は、手袋・エプ	すること。[再汚染の恐れが
ロン・マスク・ゴーグル	ある。]
を着用すること。	
2) 流水による洗浄	<ul><li>金属製のブラシは使用しな</li></ul>
血液などの目に見える	いこと。
汚れを、流水下でやわら	
かいブラシ等で落とすこ	
と。	
3) 洗浄剤洗浄	<ul><li>洗浄剤の濃度、温度、時間</li></ul>
酵素洗浄剤を用い超音	等は洗浄剤メーカーの指示
波洗浄を5分以上行うこ	に従うこと。
と。	・ 塩素を含む消毒剤(次亜塩
	素酸ナトリウム系消毒剤/
	クロルヘキシジン系消毒剤
	/ 塩化ベンザルコニウム系
	消毒剤/強酸性水など)は
	使用しないこと。[変色等が
	発生する恐れがある。]
	・ 器具同士が接触しないよう
	に注意すること。
4) 水洗	<ul><li>複数のパーツから構成され</li></ul>
① 精製水を用い超音波洗	ている器具は分解して洗浄
浄を行うこと。	すること。
② 汚れが残存している場	<ul><li>器具同士が接触しないよう</li></ul>
合は再度、3)からやり	に注意すること。
直すこと。	
5) 乾燥	
不織布等のやわらかい	
布で水分を拭き取り、充	
分乾燥させること。	
6) 保管	・滅菌バッグは紫外線を使用
① 手術目が近い場合	する殺菌灯下での保管を避
滅菌バッグ等に入れては非然のは悪い	けること。[滅菌バッグが劣
て滅菌後、清潔な場所	化する恐れがある。
に保管すること。	・汚染される可能性にさらさ
② 手術日が長期間空く場	れたもの(落とす、濡れる
合	等)は再滅菌を行うこと。
清潔な場所に保管すること(次回・使用前	<ul><li>[再汚染の恐れがある。]</li><li>滅菌バッグ等の開封後は速</li></ul>
ること。(次回、使用前に対策すること)	<ul><li>・ 滅菌バッグ等の開封後は速 やかに使用すること。</li></ul>
に滅菌すること。)	てがに使用すること。
7) 滅菌	<ul><li>オートクレーブ滅菌器の水</li></ul>
( )	は定期的に交換し、内部を
区川八四十二多州	清潔に保つこと。
	<ul><li>・ オートクレーブ滅菌器の水</li></ul>
	には硬度の高い水を使用し
	ないこと。[滅菌した本器具
	に変色等が発生する恐れが
	ある。]
L	~> <b>o</b> ∕o 1

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

### 1. 製造販売業者

京セラメディカル株式会社 TEL: 0120-923725

### 2. 製造業者

Shinhung MST Co., Ltd. (大韓民国)

取扱説明書を必ずご参照ください。